

## 国際交流基金助成事業報告書

大阪薬科大学生薬科学研究室 教授（嘱託） 馬場 きみ江

### 1. はじめに

平成 24 年 3 月 23 日（金）に、本学国際交流基金助成事業「海外交流協定大学等からの外国人研究者等招聘事業」として、台北医学大學 教授 楊 玲玲（ヤンリンリン）氏を本学に招き、講演会及び歓迎会を実施しました。楊 教授とは古くから交流があり、生薬科学研究室教員及び学生が中華民国を訪問した折りにもお世話になっており、楊 教授が所属されている台北医学大學からは本学との姉妹校協定締結についても打診を受けております。そこで、本学の新たな海外学術交流協定の締結先として検討しているところです。

### 2. 講演会

楊 教授は、3 月 23 日（金）11 時頃、本学に来学され、理事長及び学長と懇談後、生薬科学研究室教員立会で学内施設を案内いたしました。

同日 13 時より、本学D棟D302 講義室において、講演会を実施しました。始めに台北医学大學の大学紹介DVDを鑑賞した後、演題を「The wisdom and beauty health dietary（薬膳）from Kanpo medicine」として、主に「健康に美しく」なるための薬膳料理や漢方について1時間程度講演されました。講演は中国語、英語、日本語の3カ国語を使用され、また、講演中には台北から持参された杏仁茶も参加者に振る舞われ、大変ユニークな講義となりました。

参加者は、教員と学生合わせて65名となりました。



### 3. 歓迎会

同日 17 時 30 分より、本学大学会館食堂において、歓迎会を実施しました。楊 教授は日本や本学の印象、ご自身の研究、海外学術交流協定の締結等についてお話され、1 時間程度、本学教員及び学生との交流が行われました。

参加者は、教員と学生合わせて 50 名程度となりました。



### 4. おわりに

今回の国際交流基金助成事業を実施したことにより、台北医学大學と本学がお互いに理解を深め、将来的に海外学術交流協定の締結が行われることは、本学における学術研究や教育のより一層の活性化につながるものと期待しています。